

知識集約型社会を支える人材育成事業(メニューⅠ・Ⅱ) 中間評価結果(様式)(案)

大学名		整理番号	
メニュー			
事業計画名			

(「知識集約型社会を支える人材育成事業委員会」による評価)

【総括評価】

- S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。
- A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。
- B：一部で計画と同等又はそれ以上の取組も見られるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。
- C：取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、財政支援の縮小を含めた事業計画の抜本的な見直しが必要である。
- D：現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しがなく、採択大学への財政支援を中止することが必要である。

【コメント】

(大学限り開示)

事業実施に当たって、以下に留意事項及び参考意見がある場合は、それらを踏まえ、適切に対応願います。

また、留意事項は、フォローアップ及び事後評価などにおいて、その対応状況を確認することとしております。

なお、参考意見は、特にその対応状況を確認する趣旨のものではありませんが、事業実施に当たっての参考としてください。

[留意事項]

[参考意見]

非開示（文部科学省限り）

[経費面に関するコメント]